

【優秀賞】

「北方領土についての根本的な問題」

北海道教育大学附属釧路中学校

2年 皆添 莉子

待ちに待った夏休み、社会科担当の先生からこの課題を出され、最初に私が思ったことと言えば、「え、北方領土のことなんて全然知らない。」だった。街では北方領土返還を望むデザインのバスが走り回り、北方領土関係なのかは知らないが、イメージキャラクターのエリカちゃんも必死に手を振って返還を求めている、その上毎年授業で触れるのに、なぜこんなことになっているのだろうか。私の勉強不足と言われればそれまでだが、同じような考えの人がわんさかいると知り、今更ながらまずいのではないかと思った。日口関係だとか、元島民の想いだとかそれ以前に、北方領土のことについて全く知らない人が多すぎる。どうすればこの状況を打破できるのか、考えてみることにした。

ところがこれが難しい。語り部の方に全道の学校に来てもらうのは不可能だし、授業でも触れている。バスも走っているし、エリカちゃんもいる。もうやれることは全てやっているのではないか。いや、それなら、既にやっていることに何かプラスすれば良い。そこで私が思いついたのが、授業の時、何かの映像を生徒に見せることだ。

例えば、アニメ映画である「ジョバンニの島」を、授業の中で生徒に見てもらい、感想も記述してもらおう。私の学校ではこの方法で授業を受けた。映像を見るとテキストを読むより頭に入る。私も少しだけ、北方領土のことが見えた気がした。映像の併用と感想の記述は効果があると思う。

ではそこで得た知識を、どう広めるのか。こういうときこそ、インターネットを使うべきだ。インターネットには、一度拡散されるとあっという間に広まってしまう恐ろしいところもあるが、それは逆に考えれば、この問題のことを一気に拡散できるということにもなる。北方領土について得た知識を自分の中にとどめておくのではなく、積極的に発信していくと良いと思う。幸い、今は情報を発信できる手段が豊富にある。一人でも多くの人がこの問題のことを発信し、一人でも多くの人がそれを受け取ってくれば、この状況は良くなるのではないだろうか。

もちろん、ロシアとの関係がどうなるのかも重要だし、元島民の方がどんな想いを抱いているのかも忘れてはいけない。しかし、そもそも北方領土のことが全くわからないのは、根本的な問題だ。少しでもこの問題を正面から受け止めることができる人が増えることを私は切に願う。